

## 様式第五十の二（第48条第6項関係）

### 令和4年度における認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表

#### 1. 認定の日付

令和4年1月31日

#### 2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社スギ薬局

#### 3. 認定事業適応計画の実施期間

2022年2月～2026年2月

#### 4. 認定事業適応計画の実施状況

##### （1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

株式会社スギ薬局は、本計画において、店舗とデジタルを融合し、顧客の病気予防・健康管理に生涯に渡って関わり、一貫したケアサイクルの中で健康管理を実現し、顧客生涯価値（ライフタイムバリュー）の最大化による企業価値の向上を推進している。

この計画のうち、2022年度においては、ID統合管理システム、情報自動配信システム(DMP・MA)、ネットドラッグストア、新スギ薬局アプリ開発、販売期限管理システムの導入を開始した。ただし、全体的なシステム開発に時間を要しており、当初見積ったソフトウェア開発予定計画から遅延している為、2022年度の売上実績はネットドラッグストア機能により約1百万円、経費削減効果は販売期限管理システムにより約48百万円となった。

##### （2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2022年度においては、ID統合管理システムを活用した情報自動配信システムによる販促企画促進、ネットドラッグストアを1店舗稼働、新スギアプリの全面刷新、販売期限管理システムの全店稼働を行った。当初の見込み売上高は約8,319百万円を目標としてきたが、全体的なシステム開発の遅延によりネットドラッグストア機能による約1百万円の実績となった。今後は遅延しているシステムも含めた活用、および出店ペースが加速している現状を活用した全店舗への早期水平展開を行うことにより、売上目標の達成を見込んでいる。

##### （3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、2022年度は有利子負債/CFが▲2.8倍となり、経常利益収支比率が116.4%となった。

#### (4) 実施した事業適応計画の内容

2022年度においては自己資金により、ID統合管理システム、AIカメラ、情報自動配信システム(DMP・MA)、ネットドラッグストア、新スギ薬局アプリの刷新、販売期限管理システムの導入を開始した。これにより、2022年度の売上実績はネットドラッグストア機能により約1百万円、経費削減効果は販売期限管理システムにより約48百万円となった。